



# 自衛隊千葉地方協力本部

## 自衛隊千葉地方協力本部市街地広報実施



市街地広報実施状況

自衛隊千葉地方協力本部（本部長・大山康倫1海佐）は、7月7日（水）に本部庁舎周辺において市街地広報を実施した。

本市街地広報は、近隣に高等学校が2校所在している地本本部庁舎の立地を最大限活用するとともに、広報効果が最大限発揮できる登校時間での設定、さらに、地本ツイッターで実施の予定を広く周知して実施した。市街地広報の実施にあたり、不特定多数との接触が発生することから新型コロナウイルス感染症対策を確行した。

市街地広報においては、本部長自らが陣頭に立つとともに、部員一同が交代で街頭に立ち、登校中の高校生等に自衛官募集広告を折り込んだ迷彩柄ポケットティッシュを配布し、自衛隊に対する理解の促進及び志願者の拡大を図った。また、千葉地方協力本部のキャラクター「千葉翔（ちばかける）」を投入し、自衛隊に対する親近感を醸成した。

梅雨の合間を縫い、七夕の日に実施したものであるが、自衛隊と在校生の懸け橋となり、各種募集目標の完遂という大きな星へ向け、千葉地方協力本部は各関係協力団体及び地域の皆様のご理解ご協力のもと、これからも地域と一体となった募集広報活動を部員一同努めていく。

## 自衛隊千葉地方協力本部

### 募集対象者を防衛大学校オープンキャンパスへ案内



研究科学生との懇談状況

自衛隊千葉地方協力本部（本部長・大山康倫1海佐）は、7月17日（土）及び18日（日）、防衛大学校で実施されたオープンキャンパスに募集対象者38名を案内した。

本事業は、防衛大学校が開催するオープンキャンパスの体験を通じて、募集対象者の自衛隊に対する理解と認識を深めていただくために実施したものである。



模擬授業の受講状況

防衛大学校オープンキャンパスにおいて、普段接する機会のない模擬授業、研究科学生との懇談及び学生舎の見学を体験した参加者からは「非常に興味深く参加することができた。」などの感想が上がり、手ごたえのある広報活動となった。また、見学終了時に、千葉県出身の現役防大生の協力を得て、

学生生活の苦労話等についてミニ二講話をいただき、参加者からは、「防衛大学校受験に対する意欲がさらに高まった」との力強いコメントもあった。

自衛隊千葉地方協力本部は、これからも各関係協力団体及び地域の皆様のご理解ご協力のもと、地域と一体となった募集広報活動を、関係部隊と連携しつつ部員一同推進していく。